

1. 指定管理者名	一般財団法人 たじみ・空原タイル館
2. 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1)多治見市モザイクタイルミュージアムの事業の実施に関する事 (2)多治見市モザイクタイルミュージアムの維持管理に関する事 (3)観覧料、利用料金に関する事 (4)減免対象者の利用に関する事 (5)施設等の利用許可に関する事 (6)その他の業務

4. 採点表

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
1 運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	目標値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点			
		②利用人数	5	目標値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不相当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整を算出した値 目標値比とは、指定管理者が指定管理全期間分を指定管理者候補団体選定及び評価委員会に諮り、決定した値を実績値で割って求めた率をいう。 平均値比(49%) = 利用人数(日平均)206人[R3] ÷ 422人[H28～R2](H28.6開館のため日平均を採用上記②適用)	85%未満 2～0点	R3年度入館人数 56,457人<R2年度:46,175人> 【1日平均 422人/日<164人/日(R2年度)+406人/日(R1年度)+488人/日(H30年度)+573人/日(H29年度)+481人/日(H28年度)>÷5年】 ・体験工房利用者 11,171人(R2年度)<6,852人(R2年度)> 開館6年目となり、2年目の平成29年度の入場者が最高値となり、その後は年々減少が続いているものの、開館前の想定を上回る入場者数であり、十分な実績を残している。 以前は、独創的な形状の建築と相まってメディアに多く取り上げられ来館者の増加につながったが、タイムリーな企画展、他機関等との連携により、モザイクタイルの魅力を伝えることで、来館者数の維持に努めている。 コロナ禍において、入場制限を実施しながらも、入館者数が増加したことは評価することができる。 今後、新たな企画や催事等を実施していく必要性について協議を進めている。	8点
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点				
	(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る:2～0点 ・企画展年間5本「タイル考～陶芸の視座より」、「コレクション探訪」、「藤森照信モザイクタイルミュージアム」、「未来のタイル・コンペティション応募作品展」、「魅惑幻視～モザイク満」を実施。 ・体験工房では、ワークショップ(フォトフレーム等制作)を実施(利用者11,171人)。 ・ワークショップ「こだみほさんとタイル絵本」を作ろうを開催。 ・講演会では、開館5周年企画記念対談を実施。 ・その他、館外活動、他機関との協力・連携、収蔵資料に関する事業等を実施。 ・令和3年度は、コロナ感染拡大防止のため、度重なる制限の中、工夫を重ね、感染対策を徹底し実施。コロナ禍で来館が不可能な方へ、YouTubeによる動画配信を実施。新型コロナウイルスの影響による収入減を見込み、協賛金、助成金を活用。多治見市教育研究所の「土曜学習」をはじめ教育機関との連携等、幅広く事業を展開。	期待以上 15点	国際陶磁器フェスティバル美濃21の関連企画として、タイルコンペティション部門の作品を展示やタイル名称100周年巡回企画展の開催準備など、他との連携も積極的な取り組みを行っている。 開館5周年企画展として、藤森照信氏を招聘して、地元作家と対談の実施や、企画展と合わせた関連企画としてワークショップ等を開催し、いろいろな視点で企画内容の周知や知識の浸透を行っている。また、館外活動なども積極的に実施し、広くモザイクタイルの魅力の発信に努めている。 令和3年度は、令和2年度に引き続き、体験工房、ワークショップにおいて、人数制限や感染対策を徹底し実施している。休館期間中や来館できない方に対してSNS等を活用した発信を行うなど、コロナ禍でも柔軟に対応している。 また、休館や入場制限による収入減を見込み、協賛金を募ったり、芸術文化振興基金の助成を受けるなど、財源確保に努めている。	30点	
2 施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況 (10点)	①清掃	10	適正に実施されている 施設周辺他施設と連携して月1回(第3木曜日)地域清掃を実施している	適正(普通) 2点	・掃除機、モップ等による清掃を毎日実施。 ・業者による床清掃(ワックス塗布)を年1回実施。 ・受付、事務所が常に整備されている。	
		②保守・点検	10	適正に実施されている	適正(普通) 2点	照明、空調、給排水などの設備を日常的に点検。空調は、定期的にフィルターを取替えている。補修等の剪定を適宜実施している。	
		③保安・警備	10	適正に実施されている	適正(普通) 2点	館内に監視カメラを設置し、作品の監視、来場者の安全を確保。防火管理有資格者を配置。	
		④小規模修繕	10	適正に実施されている	適正(普通) 2点	市への連絡も含め、適宜対応している。	
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)	10	適正に実施されている	適正(普通) 2点	常に施設全体に目を配り、安全確保に努めている。	
	(2)その他管理業務の実施状況 (15点)	①文書管理	15	適正に実施されている	適正(普通) 2点	文書はキャビネットやレターケースで適切に管理。	
		②環境への配慮	15	適正に実施されている	適正(普通) 2点	社内用の文書には、古封筒や裏紙を使用。	
		③バリアフリー	15	適正に実施されている	適正(普通) 2点	通路、展示室、工房の出入り口など、車椅子等に十分対応できる広さが保たれており、また段差もない。	
		④備品管理	15	適正に実施されている	適正(普通) 2点	管理者備品については、市とは別の台帳で管理されている。	
		⑤個人情報保護	15	適正に実施されている	適正(普通) 2点	個人情報が含まれる書類等については、鍵のかかるキャビネットで保管し、パソコンでは、個人情報保護をパスワードをかけて共有フォルダーで管理している。	
3 当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点 収入 96,188,692 ÷ 支出 105,748,235 = 91%	100%未満 3点	事業収入とは別に、多治見市指定管理者緊急支援金あり 22,172,488円 (R3.4～R4.3)	4点	
	4 より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点 来場者へのアンケートを実施し、改善内容を適宜実施している。	期待以上 8点	・1階暖炉前にアンケートを常設し、来場者のニーズの把握に努めている。 ・要望等について、職員で情報を共有し、改善点を洗い出し、適切な対応を実施している。 ・アンケートの結果を集計し、企画展や展示方法など事業に反映している。 ・館内連携の2階産業振興フロアでは、来館者を含めたエンドユーザーへタイルの活用方法を提供できる場として、インテリアコーディネーターによるタイル相談会を開催、タイルの活用方法を視覚的わかりやすく提案している。
②苦情対応			5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	適正(普通) 4点	メール等での苦情に対しても適宜対応している。	
(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点 ・新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等マスの取材年間191件(前年224件) ・細かなマニュアルの見直しや、視察等による職員研修の実施による接客の向上、業務改善の取り組みを実施。	期待以上 14点	マスコミの取材対応に丁寧な対応がなされた。多数の取材があり、旅行雑誌などでは、この地方の定番スポットとなっている。 取材対応件数、掲載数は大変評価できる。 また、モザイクタイルミュージアムが全国的に周知されることにより、美濃焼タイルの知名度や注目度の高まりもあり、タイルの新たな需要、産業振興に寄与している。		
5 その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	遅れ・不備なし 減点なし			
	(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし、対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	施設の企画・運営が特定の職員に偏りが見られる。 対応等が期待以下(軽微) △1	安定的に且つ継続的に運営するためにも、非常時におけるリスク分散の組織構築が必要である。		
合計		100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下		全体的な評価 事業に関しては仕様書どおり大変良好に実施され、知名度、集客効果も十分図られている。	合計87点 極めて良好	

5. 来年度の管理運営(事業執行)に対する指示事項等、評価委員会において出された意見

--	--